

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 3 月 23 日

事業名称		成人保健事業費 [成人保健事業（成人歯科健康診査・歯周病予防講演会）]									
予算科目	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 1	保健衛生総務費	事業番号	4			
事業の種別	☐ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）										
担当部署・課長名	健康 課 保 健 係					課長名	志村 明子				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 1			
【施策名】 保健医療の充実							総合計画書（ページ）	47			
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 成人歯科健康診査：30、40、50、60、70歳の市民 76、80、85歳の市民（無保険） （現在歯科治療中、定期的検査を受けている者を除く） 歯周病講演会：市民（概ね65歳未満）				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） ①歯科健康診査対象者 ②市民の数（65歳未満）						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ①受診者自身が口腔の状態を知り良好な状態に保つことができる。 ②歯と口の健康に関する知識を深め、健康の保持増進が行える。				② ②をどのくらい行いましたか（活動指標） ①受診者数 ②受講者数						
	③ そのために何をしましたか。 ①定員の範囲内でできるだけ多く受診してもらうため、対象者に受診勧奨のはがきを送付した。市報、ホームページで周知した。 ②東大和市歯科医師会の歯科医師を講師として歯周病予防講演会を開催。市報及びホームページへの掲載、ポスターを作成し関係機関の施設に掲示した。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） ①健診対象者に健診受診勧奨のために出したはがき通知数 ②ポスター掲示箇所数						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	人	①4,915 ②63,507	①4,752 ②62,987	①5,671 ②62,435					
	成果指標	②の数値	人	①372 ②7人	①299 ②8人	①195 ②9人					
	目 標	②の目標値	人	①400人 ②20人	①400人 ②20人	①550 ②20人					
目標値設定の考え方											
1 歯科健診の定員 2 講演会の定員											
活動指標	③の数値	人	①4915 ②144	①4752 ②143	①5671 ②143						
3 経費	事業費（実績）		円	81,506,140	77,185,748	82,285,939		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 （退職手当組合負担金、共済費も含む。）			
	財源	一般財源	円	72,465,636	64,814,287	72,431,574					
		特定財源	円	9,040,504	12,371,461	9,854,365					
		（うち受益者負担）	円	0	0	0					
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人	1人+0.3×9人	1人+0.3×8人	1人+0.3×7人					
		所要人数（再任用）	人								
		職員人件費（再任用以外）	円	30,587,900	28,029,600	25,761,000					
職員人件費（再任用）	円										
事業費+人件費		円	112,094,040	105,215,348	108,046,939						
4 環境変化等	（1）開始年度		24 年度								
	（2）環境の変化		平成30年度までは健康増進法に基づく歯周疾患検診として、40、50、60、70歳の市民を対象に実施してきたが、平成31年度から後期高齢者医療加入者対象の歯科健診（76、80、85歳対象）が実施されることになったのを契機に対象者を無保険者（76、80、85歳）及び30歳を加えた成人歯科健診として行うこととし、対象者全員に勧奨はがきを送付し申し込み制で実施した。 歯周病予防講演会は、健康増進法に基づく健康教育として実施している。								

事業名称	成人保健事業費 [成人歯科健康診査・歯周病予防講演会]			
担当部署・課長名	健康課	保健係	課長名	志村明子

5
市民等の意見

この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について

成人歯科健康診査：平成31年度からは、30歳、76、80、85歳の枠を増やしたが、受診者は少ない。
 歯周病予防講演会：顕微鏡で自分の口腔内細菌を見る体験は好評だった。

6
市民協働

(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）

☐ 取り組んだ
 ☒ 取り組まない

取組手法：
 【取組手法の種類】
 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成
 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）

(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点

7
課題

(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）

成人歯科健康診査：受診者数の増加
 歯周病予防講演会：受講者数の増加

(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。

成人歯科健康診査：健診票送付者のうち未受診者に対して、市報等で受診勧奨を周知した。
 歯周病予防講演会：講演会の内容に「体験」を加え、他の事業実施日の同日開催とした。

(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）

成人歯科健康診査：75歳以上対象の歯科健診は、後期高齢者医療加入者対象の歯科健診に準ずる内容としており、担当課との共有を図っていく。健診受診の動機づけのため歯周病自己チェックシートを健診票送付時に同封する。
 歯周病予防講演会：若い世代の受講者を増やすためにテーマの工夫を行う。幅広い講演内容とするため「歯科保健講演会」に名称を変更する。

8
施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）

施策名： 保健医療の充実

☒ なっている
 ☐ 環境の変化等により成果が減少している
 ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)

9
今後の方向性

(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）

☐ 拡大
 ☒ 現状維持
 ☐ 縮小
 ☐ 休止
 ☐ 廃止

【取組内容】

成人歯科健康診査：健診項目等について関係課・関係機関等と調整を図る。30歳の対象者には、全員に直接健診票を送付し利便性を図る。
 歯科保健講演会：名称変更に伴う、講演内容等について歯科医師会と協議する。

(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等

成人歯科健康診査：近隣市の状況等情報収集等が必要
 歯科保健講演会：市民の関心の高いテーマのリサーチなど内容を工夫をする。